

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説編生活科の内容（9）「自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。」を受けて設定した単元である。

本単元は3部構成とする。第1部及び第2部では児童にこれまでの自分の成長を振り返らせ、発表させる。第3部ではこれからの自分の成長の見通しをもたせる。本時を含む小単元は第2部に当たる。

第1部においては、学校や家での自分の生活を振り返ることを通して、自分のよさや可能性に気付くことをねらいとする。第2部においては、これまでの成長をまとめた絵本を作ることを通して、自分の成長や、周囲の人々に支えられて成長していることを考えることをねらいとする。第3部においては、3年生について調べたり頑張りたいことを考えたりすることを通して、これからの成長への願いをもって意欲的に生活できることをねらいとする。

○ 児童観

本学級の児童は、生活科の単元「1年生をむかえよう」や校内持久走記録会に取り組み、下学年と接することで、1年生との違いや上の学年の役割を感じている。自分の成長について振り返る活動を行った際には、2年生になってできるようになったこととして、「九九ができるようになった」「漢字をきれいに書けるようになった」などを挙げており、自分の成長を実感している様子もうかがえた。しかし、学習面での成長に気付いた児童に対し、生活面での自分の成長に気付いた児童が少なかった。また、周囲の人々の支えによって成長していることへの実感も少なかった。

○ 指導観

情報を収集する過程に当たる第1部では、自分の成長を振り返りやすくするため、学級の全児童に共通して振り返ることができる入学してからの自分の成長を年表にまとめさせる。生活面での成長に気付くために、保護者へインタビューをし、学校外での成長があることに気付かせる。

第2部が本小単元となる。

課題の設定では、第1部での取り組みを振り返る中で、自分の成長をまとめたいという意欲をもたせる。情報を整理・分析する過程では、振り返った出来事の中から絵本にまとめるものを選ぶ。成長をまとめることができるよう、「がんばってできるようになったこと」という視点で選ばせる。選んだ出来事について、過去と現在を比較することで、自分が成長していることにはっきりと気付かせる。そして、なぜできるようになったのかを考えることで、「できるようになったこと」と「関わってくれ

た人」を関連付け、自分の成長には周りの人々の支えがあることに気付かせる。まとめ・創造・表現では、絵本の下書きと清書を行い、絵本を作成する。完成した絵本をもとに「ありがとう発表会」を行い、周りの人に支えてもらってできるようになったことをクラスのみんに紹介する。

第3部では、3年生について調べることで、これからの自分の成長に意欲をもつことができるようにする。

単元の目標及び内容について

- 自分が大きくなったこと、できるようになったこと、2年生としての役割が増えたこと、自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付く。

【知識及び技能】

- 自分の生活や、家族が自分を支えてくれていることについて考える。

【思考力、判断力、表現力等】

- 家族がこれまでの生活や成長を支えてくれたことに感謝の気持ちを持ち、意欲的に生活しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分が大きくなったこと、できるようになったこと、2年生としての役割が増えたこと、また、自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。	自分の生活や、家族が自分を支えてくれていることについて考えている。	家族がこれまでの生活や成長を支えてくれたことに感謝の気持ちを持ち、意欲的に生活しようとしている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【知識・技能】	・自分が大きくなったこと，できるようになったこと，2年生としての役割が増えたこと，自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わり，内面的な成長に気付いている。	・自分が大きくなったこと，できるようになったこと，2年生としての役割が増えたこと，また，自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。
【思考力】 【表現力】	・自分の生活や，家族・家族以外の方が自分を支えてくれていることについて考えている。	・自分の生活や，家族が自分を支えてくれていることについて考えている。
【主体性】 【自己理解】	・家族や家族以外の人々が自分のために思ってこれまでの生活や成長を支えてくれたことに感謝の気持ちを持ち，意欲的に生活しようとしている。	・家族がこれまでの生活や成長を支えてくれたことに感謝の気持ちを持ち，意欲的に生活しようとしている。

指導と評価の計画

全9時間

次	時	学習内容	評 価			育成したい 資質・能力		
			知	思	主		評価規準	評価方法
		生活科「明日へジャンプ」 ○1，2年生の間にあった出来事を振り返ったり，自分の成長に関わっている人にインタビューしたりして，自分の成長に気付く。						
		道徳「自分がしんごうきに」 ○周りの人々が自分たちを支えてくれていることに気付き，感謝の気持ちをもつ。						
一	1	課題の設定（1） ○自分の成長を絵本にまとめて，みんなに伝えたいという意欲をもち，学習の見通しを立てる。 ・自分の成長をまとめたいという意欲をもつ。 ・これまでの学習や生活の中でできるようになったことや役割が増えたことを絵本にまとめて発表するという課題を設定し，学習計画を立てる。			○	・自分の成長をまとめることに関心をもち，絵本のまとめ方について話し合っている。	行動観察	主体性

二	2 ・ 3	整理・分析（２） ○自分の学習や生活について振り返ったことの中から、絵本にまとめる出来事を選ぶ。 ・まとめた年表やワークシートなど収集した情報から、自分が特に成長したと思えることや、紹介したいことを選ぶ。 ・成長した理由をまとめる。 【本時】	○	・自分の生活や、家族が自分を支えてくれていることに気付いている。	行動観察 ワークシート	知識・技能
	4 ・ 6	まとめ・創造・表現（５） ○絵本にまとめる。 ・自分の選んだ出来事を絵本にまとめる。	○	・自分の成長、その時の気持ち、支えてくれた人の３つを絵本にまとめている。	行動観察 ワークシート	表現力
	7 ・ 8	○ありがとう発表会をする。 ・絵本にまとめたことをもとに自分が成長したことやできるようになったことを発表する。 ・お互いの成長を認め合う。	○	・家族に支えられて成長したことを考えている。	行動観察	表現力
三	9	振り返り（１） 学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で自らの学びを振り返る。		・家族がこれまでの生活や成長を支えてくれたことに感謝の気持ちを持ち、意欲的に生活しようとしている。	行動観察	自己理解
		生活科「明日へジャンプ」 ○3年生にインタビューし、これから自分が頑張りたいことを考える。				

本時の学習

(1) 本時の目標

- 自分の成長や周りの人との関わりがある出来事を選ぶことで、自分の生活や、周りの人が自分を支えてくれていることについて気付くことができる。

(2) 本時の評価規準

- 自分の生活や、周りの人が自分を支えてくれていることに気付いている。

【知識・技能】

(3) 本時の学習展開（2時間目／全9時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 ○今日の学習の予定は何ですか。 ・絵本に書くことを決める。 ・絵本を作る。 2 本時の学習課題を確認する。 めあて できるようになったわけを考えよう。	◇成長が分かるような絵本を作っていくことを確認する。	
本時のゴールの見通し 自分が成長していることや周りの人々に支えられていることに気付いている。		
3 絵本に書く、学校での成長のベスト1を選んで、成長に気付く。 ○成長とは何だと思えますか。 ・出来事…持久走記録会 ・できるようになったこと…1年生の時より早く走れるようになった。 ・気持ち…嬉しかった。 ・関わってくれた人…お母さんが見に来てくれた。 ○前と今を比べてみて、どう変わっていましたか。 ・1年生の時は82番で最後から3番目にゴールした。→今年は40番で真ん中ぐらいにゴールできた。 4 成長の理由を考え、支えられていることに気付く。 ○なぜそれができるようになったのでしょうか。 ・お母さんが毎日応援してくれたから。 ・先生が九九のやり方を教えてくれたから。	◇付箋を1枚だけ選ぶのではなく、4枚（もしくは「出来事」を抜いた3枚）で1セットになることを確認する。 ◆前の自分と比較できるものを選ぶことができるようにする。 ◆付箋で「かかわった人」が多いものを選ぶように促す。 ◇過去の自分と現在の自分を比較することで自分の成長を実感させる。 ◇できるようになった現在の自分を書き、過去の自分を振り返りやすくする。 ◇自分の成長を支えてくれた様々な人の存在や関わりを明らかにさせる。	◎自分の生活や、周りの人が自分を支えてくれていることに気付いている。【知識・技能】 (行動観察・ワークシート)

□思考の場の工夫 **関連付ける**

「できるようになったこと」と「かかわってくれた人」を関連付けて、自分の成長にはいつも支えてくれる人が関係していることに気付く。

5 成長の理由を発表する。

○できるようになったわけを発表しましょう。

- ・毎日、友達と一緒に練習したから。
- ・お父さんが夜一緒に河川敷を走ってくれたから。

◇友達の原因と自分の原因を比較して聞くようにさせる。

6 振り返りをし、次時の見通しをもつ。

○今日の授業で、分かったことや考えたことを書きましょう。

◇次時の活動への意欲をもつことができるようにする。

★めざす児童の姿

- ・成長したわけを考えたら、家族や友達にいっぱいささえてもらっていることが分かりました。

(4) 板書計画

1・2・ステップ・ありがとう！

めあて
できるようになったわけを考えよう。

出来事・できるよう・気持ち・ささえになった

じきゅう走記ろうく会	1年生の時よりはやく走れるようになった。	うれしかった。	お母さんが見に来てくれた。
------------	----------------------	---------	---------------

今（今年）は、40番目にゴールできた。
うれしい。よかった。



みんなのささえ

できるようになったわけ

- 友だちとたくさんれんしゅうしたから。 **友だちのささえ**
- 1年生や3年生がおうえんしてくれてゆう気が出たから。 **ほかの学年のささえ**

- 毎日、友達と一緒に練習したから。 **ともだちのささえ**
- お父さんが夜一緒に河川敷を走ってくれたから。 **家ぞくのささえ**

じきゅう走記ろうく会

12月に、じきゅう走がありました。お母さんや1年生、3年生がおうえんしてくれて、ゆう気が出ました。
1年生の時はさい後から3番目だったけど、今年は40番目にはやく走れてうれしかったです。

家ぞくのささえ



前（1年生の時）は、82番で、さい後から3番目にゴールした。くやしかった。



まとめ
成長したわけを考えたら、家族や友達にいっぱいささえしてもらっていることが分かりました。

<参考> 「学びのモニタリング」

	③	②	①	海田東小 学びのモニタリング 1・2・ステップ・ありがとう！ 「あしたヘジャンプ」	
	たいことなどを書きましょう。	自分のせい長をささえてくれた人がいること気づくことができましたか。	自分の成長に気づくことができましたか。	二ねん	
		とても	とても	くみ	
		まあまあ	まあまあ	ばん	
		あまり	あまり	(
		まったく	まったく)	
		4	4		
		3	3		
		2	2		
		1	1		